

自然観察員から説明を受ける
さくらウォーク参加者



秋田県五城目町
朝市と城のある町

みんなの町議会

Contents

主な内容

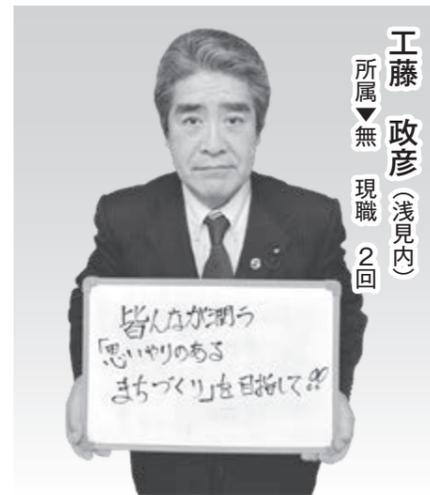
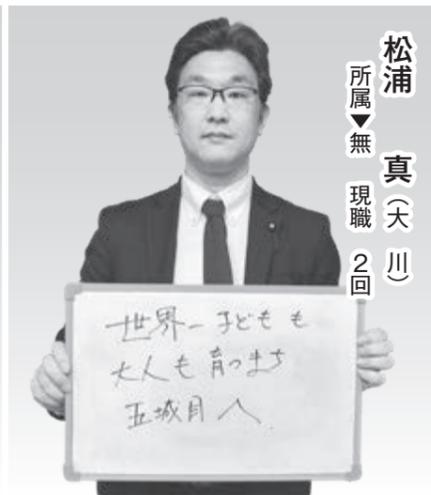
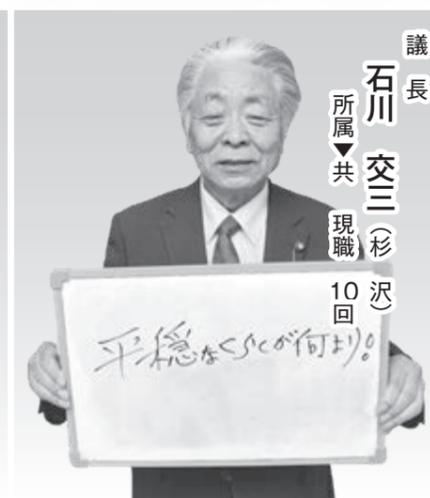
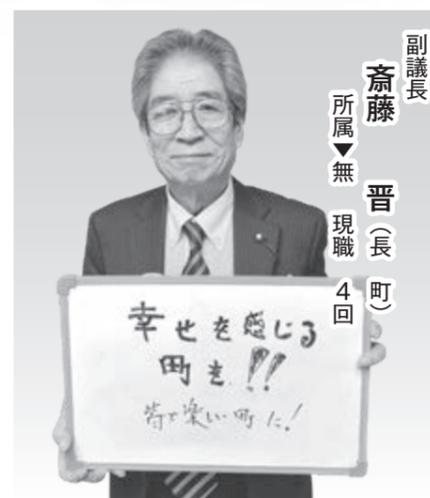
- 新たな顔ぶれ 2~3
- 臨時会・議会構成 4~5
- 3月定例会・陳情と意見書・全員協議会 ... 6~7
- 一般質問に6名登壇 10~16
- 議会を傍聴しました・がんばってます ... 18

No.158
2024.5.1

私の決意 伝えます!!

～新たな顔ぶれ 14人のメッセージ～

3月24日投開票の五城目町議会議員選挙において新人5人に加え、新たな14人の顔ぶれが決まりました。
任期当初の意気込みをぜひともご覧ください。



(松浦 真)

新人5人 を加えた 新しい議会 構成が決まる

第1回
臨時会
4月3日

臨時会の概要

4月3日午前10時より、改選後初の臨時会が開かれた。議員は本会議場正面入口から、身の引き締まる思いで入場。最年長の館岡隆氏が仮議長を務め、各議員と町執行部が自己紹介。その後、議事日程に従い正副議長の選出を単記無記名投票で行った。

議会運営委員会、議会広報編集委員会の委員を選出し、それぞれ正副委員長を互選した。議会の正副議長と運営委員長は、議会三役と呼ばれる。八郎湖周辺清掃事務組合議員には、佐々木仁茂氏、小玉正範氏を選出。当局提案の監査委員は、石井光雅氏に同意した。

議長選
石川 交三 8票
佐々木仁茂 2票
白票 4票

副議長選
齋藤 晋 9票
石川 重光 5票

結果、議長に石川交三氏、副議長には齋藤晋氏の就任が決まった。地方自治法「103条の2議長及び副議長の任期」により任期は4年。その後、各常任委員会、



新たな顔ぶれ

議会運営委員会

- 議会の運営、会議規則、委員会に関する事項
- 議案（条例、予算、契約）及び請願、陳情に関する事項
- 議長の諮問に関する事項
- その他、議会運営に関する事項

これらを円滑に進めるため協議する

委員長 荒川 滋
副委員長 椎名 志保
委員 佐々木仁茂
委員 工藤 政彦
委員 松浦 真
委員 佐沢由佳子

総務産業 常任委員会

- 総務課
まちづくり課
税務課
出納室
- 選挙管理委員会
農林振興課
商工振興課
建設課
農業委員会の所管に関する事項
- 右記に関する条例及び工事に係る事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項
- 他の常任委員会の所管に属さない事項

これらの審査を行う

委員長 工藤 政彦
副委員長 石川 重光
委員 館岡 隆
委員 佐々木仁茂
委員 石井 光雅
委員 椎名 志保
委員 中村 司

教育民生 常任委員会

- 教育委員会
住民生活課
健康福祉課
消防本部の所管に関する事項
- 右記に関する条例及び工事に係る事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項

これらの審査を行う

委員長 松浦 真
副委員長 佐沢由佳子
委員 石川 交三
委員 齋藤 晋
委員 荒川 滋
委員 伊藤 信子
委員 小玉 正範

議会広報編集委員会

- 住民と議会との意思疎通を図り、相互の信頼を培う
- 町民にとって分かりやすく親しみやすい広報づくりに徹する

委員長 椎名 志保
副委員長 松浦 真
委員 工藤 政彦
委員 石川 重光
委員 佐沢由佳子
委員 中村 司
委員 伊藤 信子
委員 小玉 正範



監査委員

石井 光雅

八郎湖周辺清掃事務組合

- 男鹿市、五城目町、八郎湖町、井川町、大潟村の5市町村で組織する組合で、男鹿市松木沢の八郎湖周辺クリーンセンターの管理運営に関する予算や事業の審査をする

議員 佐々木仁茂
議員 小玉 正範

議長 石川 交三

この度の議会改選によりまして、再度議長に就任いたしました。地方自治を取り巻く環境が厳しさを増す中、その責務の重大さに身が引き締まる思いであります。地方自治法の精神は「住民福祉の向上」であり、町民の命と暮らしを守っていくことが町の本来の仕事としています。わが町は未曾有の水害に見舞われ、

未だ復興の途上にあります。地球沸騰化と言われる時代であり、いつまた災害があるかわかりません。誰もが不安を感じています。こんな時だからこそ、町民の安全・安心をどう守るのか、町も議会もその役割が鋭く問われています。二元代表制の元、最終議決機関としての役割をしっかりと果たすことはもとより、町民に寄り添い、町発展に向けた様々な提案・提言が求められていると考えます。町民各位の御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。

副議長 齋藤 晋

この度副議長に就任いたしました事を心より感謝申し上げます。町民の皆様が幸せを感じることが出来る町を築くこと、町の発展と福祉の向上に貢献

する責務を担う事に、深い責任と使命感を感じております。町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、公正かつ透明な議会運営を実現するため、地域の課題に向き合い、誠実さと献身性を持ち、町民の皆様期待に応えるべく、誠心誠意で取り組んでまいります。皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

3月定例会

持続可能な行財政運営に 62億3,700万円 [前年度比4億8,100万円 8.4%増]

令和6年度 一般会計予算

議会の経過

3月定例会は2月26日から3月5日まで9日間の日程で開かれた。

初日 1件の議員研修報告の後、施政説明で渡邊町長は、「災害対応により財政状況が厳しい中で、予算編成であった。災害関係では、2月に行われたワークショップでの意見や情報を今後の防災対策に生かしていく。農地の復旧は5月末の完成を目指し、間に合わない農地には支援していく。県事業である「馬場目川水系河川整備計画」について検討委員会が設立され、河川整備と併せ、



町民参加型のワークショップで防災対策

河川維持も要望していく。子育て世代を支援するため、保育料を完全無償化とする。

第9期介護保険事業計画では、保険料の基準月額を7,200円とする。

新たな浄水場の検討、人口減少や施設の老朽化を踏まえ、水道料金及び下水道使用料改定の検討に着手する」などと述べた。

畑澤教育長は、「キャリア教育優良教育委員会として文部科学大臣表彰を受賞。教育留学については来年度の受け入れを20人程度とし、県の委託事業の最終年度となるが、今後の展開を検討していく。五城目小学校が創立150周年を迎え、記念誌の発行、記念式典などを行う。矢田津世子没後80周年を迎え、特別展の企画、文学記念室の展示替えを進める」などと述べた。

2日目 一般質問には6名が登壇。これまでの答弁への現状確認、ワークアシスト、議員定数、道路補修、公共交通、人口減少・少子化対策などを質問した。

3日目 令和6年度一般・特別会計当初予算など議案26件が上程され、各常任委員会で審議した。

最終日 各常任委員長報告の後、全議案を可決・承認、陳情1件を採択、2件を継続審査、3件を不採択とし、閉会した。

陳情と意見書

3月定例会で採択となった陳情は1件、継続審査2件、不採択3件とした。

採択

◆陳情第1号
「最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

陳情者
秋田県労働組合総連合
議長 越後屋建一

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 奥井 明子

意見書提出先
内閣総理大臣 岸田 文雄様
厚生労働大臣 武見 敬三様
中央最低賃金審議会会長 藤村 博之様



継続審査

◆陳情第2号
公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情

陳情者
秋田県労働組合総連合
議長 越後屋建一

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 奥井 明子

継続審査

◆陳情第15号継続審査
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

陳情者
福岡県行橋市上柳田1097-1
小坪 慎也

不採択

◆陳情第4号
地方自治と沖繩の自己決定権を尊重し沖繩県との十分な対話で基地問題の解決に臨むことを国に求める意見書に関する陳情

陳情者
沖繩に応答する会
代表 漆山ひとみ

◆陳情第3号・13号継続審査の両陳情は賛成少数により不採択
(出席12名 議長を除く)

◆陳情第3号
「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書

不採択

◆陳情第13号継続審査
あきたこまちRについての陳情

陳情者
千葉県船橋市前原西1-36-5
小瀧 隆二

賛成
佐藤 重信

反対
工藤 政彦 松浦 真
椎名 志保 荒川 滋
畑澤 洋子 佐々木仁茂
斎藤 晋 石井 光雅
伊藤 正春 荒川 正己
館岡 隆

令和6年度の主な予算

電子入札システムの導入	274万円
防災備蓄品の購入	353万円
住宅応急修理業務委託	873万円
道路側溝清掃業務委託	513万円
地方道路整備事業	282万円
育英資金貸付金	600万円
五城目小学校創立150周年記念事業補助金	138万円

事務局職員紹介

前事務局長 猿田 玲子
通算8年間、五城目町議会事務局でお世話になりました。貴重な経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

新事務局長 千田 絢子
4月1日付けで猿田前事務局長の後任として議会議事局長を拝命しました。議会の皆様と手を携え、また町民の皆様方のご指導、ご協力をいただきながら日々邁進してまいりますので、事務局職員一同よろしくお願いいたします。

(椎名 志保)

議会議員全員協議会

- 第1回** 令和6年1月19日
報告案件
- ①物価高騰重点支援対策事業等について
 - ②災害対策本部の体制移行について
 - ③秋田県大雨災害義援金について
 - ④令和5年7月大雨災害の検証について
 - ⑤五城目町育英資金貸付制度の変更について
- 第2回** 令和6年2月8日
協議案件
- ①戸籍謄本等に係る手数料について
 - ②年末年始の休日の変更について
 - ③基金の統廃合について
 - ④五城目町国民健康保険特別会計について
 - ⑤五城目町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について
- 報告案件**
- ①令和5年7月大雨災害で被災した農地の復旧見込みについて
 - ②新水道ビジョンについて
 - ③五城目町総合交流センター五城館の指定管理者候補者について



経営改善を期待 (五城館)

重層的支援体制整備事業を学ぶ

- 研修名 政策・実務研修「生活困窮者の自立支援」
- 研修日時 令和6年1月24日～26日
- 研修先 滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所
- 参加議員 松浦 真

(工藤 政彦)

介護保険料 基準月額 8,300円から7,200円に



健康寿命延伸が鍵となる

教育民生 常任委員会

第9期介護保険事業計画の策定に伴い、令和6年度から令和8年度までの3年間、基準月額を8,300円から7,200円にする。
委員からは「第8期から1,100円の減額になった要因は」と質疑があり、当局からは「第7期、第8期と2期6年にわたり、町民の介護予防に対する意識変革の効果があつた。基金の取り崩し額を協議し、結果1,100円の減になった」と答弁があり、全会一致で可決すべきものと決した。

廣徳寺橋の復旧工事 工期大幅延長



復旧工事が進む廣徳寺橋

総務産業 常任委員会

廣徳寺橋橋梁災害復旧工事（現橋の撤去）は令和6年3月15日までの工期であったが、天候の悪化などのため工程に遅れが生じ、請負業者の（株）菅与組から提出された延長願いを受理し、本年10月31日まで230日間延長する。
委員からの「今後費用の掛かり増しも想定されるのではないか」との質疑に「今後金額変更契約があると予想される」と答弁があつた。
また、「令和7年9月とされた本橋の最終完成時期が遅れるのではないか」との質疑には「資材調達や天候によって左右されることが考えられるが予定通りの完成を目指す」と答弁があつた。
この度の大幅工期延長や最終的な本橋の完成について門前の方々、関係者には逐一説明するよう指摘があつた。

令和6年度に実施される道路工事

○地方道路整備事業（交付金）

4,000万円
五城目外環状線舗装改良工事
大川上瀉端線舗装改良工事

○単独道路整備事業

2,052万円
小野台墓地線改良工事
川反通り線改良工事

○道路補修事業 532万円

坊井地線舗装補修工事
谷地中石崎線舗装補修工事



舗装改良工事が実施される五城目外環状線（町村付近）

町役場、年末年始の休日が変わる

平成17年以降、12月31日から1月5日までとしていた町役場年末年始の休日を、デジタル化が進む現状を考慮しコンビニ交付などのDX化を推進させ、他の自治体と休日期間を合わせることで業務の効率化を図り、住民サービスの充実を図ることを目的に2日前倒し

にして12月29日から1月3日までに戻す。

委員から「これまで大瀧村と本町だけであったが、これでようやく県や他の自治体と揃うことになるので適切な判断である。もっと早く変更するべきであった」という意見があつた。

（石井 光雅）

備蓄倉庫が完成



防災対策の要となる備蓄倉庫

岩城町の「スパーク五城目」横に備蓄倉庫が完成。委員から防災対策用購入費の減額補正の理由を問う質疑があり、当局からは「障害者用トイレの購入を予定していたが、災害により時期を逸してしまつた。改めて予算化し購入予定」と答弁があつた。
また、委員から「今回の豪雨災害を踏まえて、今後購入が必要な備蓄品は何か」と質疑があり、当局からは「6年度当初予算で毛布300枚、給水袋1,000枚を購入予定である。食料・水などは充足している」と答弁があつた。

子育て支援が 更に充実

町ではこれまで、3歳から5歳児を対象として保育料を助成してきた。少子化対策の一環として、子育て世代の住環境の整備や経済活動を支援するため、令和6年度より所得制限を設けずに保育料を完全無償化する。

また、委員から「育英資金の貸付が大学生・大学院生まで拡大したことも評価したい」と意見があつた。



完全無償化で子育て環境の充実へ

（松浦 真）

馬場目川下流 大川地区の浸水対策は

町長 河道掘削など
確実に進むよう要望する

荒川 県の河川整備計画から漏れている大川地区の浸水対策をどう進めるか。

町長 馬場目川水系水災害対策プロジェクトでは西野橋から下流部は河道掘削や伐木など維持管理的対策が主なもので、町民の想いを県との協議の場で提言し、近隣町村、関係機関とも協力して要望する。

荒川 大川地区の災害検証ワークショップでのキーワードの一つに「水路の水門管理の明確化」があった。これはすぐにでも取り掛かれることだ。早急に対応しなければならぬ。



川幅約半分。解消は行政の腕の見せ所
(馬場目川昭辰橋上流)

荒川 森林環境譲与税を活用した人材育成研修の検討はど

林業人材育成研修はどうなった

町長 令和3年12月に同箇所に照明灯を設置すると答弁があったが、どうなった。

町長 通学路全体の状況確認の結果、利用度が高い中央線の街路灯のLED化を優先し

小学校前横断歩道東側への街灯設置は



宝の山に囲まれた本町、人材育成で林業の町復活へ

荒川 奈義町(岡山県)や神山町(徳島県)など成果を上げています。取り組みを示し、当町でも取り組むようにとの提言に、先進例を参考に努めるとの答弁があったが現状は。

町長 子育て世代の住まいに関する具体的な取り組みの検討はしていないが、経済的負担の軽減が重要であると考え、昨年4月に学校給食無償化、この4月から保育料の完全無償化を進めている。

子育て世代住まい確保の取り組みは

荒川 利点が多く職人や専門家の意見を聞き検討すると答弁があったが現状は。

町長 木材の提供を含めた実施の可能性を検証し、木種の選定とデザインなど関係機関と引き続き協議を進める。

1歳児に五城目のイス贈呈はどうなった

た。令和6年度、同事業完了後の設置となる。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



荒川 滋

一般質問動画はQRコードから

今回の質問は全てこれまでの「検討する」という類の答弁の現状確認を中心に行った。

本町部馬場目川の土砂撤去の今後

荒川 馬城橋と昭辰橋と富津内川との合流地点までの未着手箇所の今後は。

町長 河川の管理者である県は馬城橋と昭辰橋間は水量が多い箇所への重機乗り入れが困難で施工方法を検討するため時間を要する。昭辰橋と合流部区間は、令和6年度着手に向け現在調査中。町は、昭辰橋上流東側の雑木伐採には全面的に協力する。

うなったか。

町長 森林管理計画業務に多くの時間を割く必要があり、研修事業はおこなっていないが、先行事例で知見が蓄積されてきているので受講対象者とニーズの把握から進める。

一般質問

6議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

荒川 滋 議員

- 任期最後の今回、これまでの答弁に対する現状確認(町職員は町から/朝市/農林業/子ども子育て/情報伝達など)
- 任期最後の今回、これまでの答弁に対する現状確認【災害関係】(河川土砂除去/戸村堰と国道沿い浸水対策/災害の検証/下流部(大川地区)の浸水対策など)

畑澤 洋子 議員

- 特殊詐欺から町民を守る
- 带状疱疹ワクチンに助成金の開始を
- 庁舎窓口に軟骨伝導イヤホンの常設を
- テレビ回覧板の運用で安全安心の生活に役立てるサービスの開始を

斎藤 晋 議員

- 生産年齢人口減少について
- 農林業の振興のために
- 適正な議員定数について
- 移住促進を図り人口増を目指すには

工藤 政彦 議員

- 除雪業者の育成について
- 町道、県道の道路舗装補修について

松浦 真 議員

- 五城目町の公共交通について
- 五城目町で子どもが自由に預けられる場所はどこか
- 子どもが常に大人に監視される環境は誰がつけているのか
- 除排雪について
- 五城目高校の高校魅力化について

椎名 志保 議員

- 大雨災害から7ヶ月、住民に寄り添った対応を
- 人口減少・少子化対策に本腰を

* 誌面の関係に掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。 議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入
検温と手指の消毒剤あります)



④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)



③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



※新型コロナウイルスなど感染拡大の防止および、傍聴される皆様の健康を守る観点から、傍聴を自粛いただく場合がございます。お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

一般質問



畑澤 洋子
(公明党)

一般質問動画はQRコードから

畑澤 高額なワクチン料金に躊躇する人が多い。感染により後遺症に苦しむ人も多い。ワクチン料金に助成し長い老後の安心確保につなげてほしい。

带状疱疹ワクチンで 安心確保を

町長 1回5,000円を助成する

助成額	助成期間
5,000円 (生ワクチンは1回分、 不活性化ワクチンは 2回分助成)	令和6年 4月1日(月)から

いよいよ助成が始まる

町長 带状疱疹は働く世代の50歳以降に発症が多いことを踏まえ、希望する50歳以降の町民1回接種につき5,000円を助成する。



自治体窓口での設置が広がる

軟骨伝導イヤホンの常設で町民に配慮を

畑澤 窓口で聞こえづらい人と大声でのやり取りは、職員の気遣いだけでは配慮が足りない。聞こえの第3の経路として軟骨伝導イヤホンがある。耳穴に装着しないので衛生的で意思の疎通も容易になる。
町長 1台購入し窓口で試用してみても、好評であれば順次窓口を設置を進める。

特殊詐欺から町民を守る

畑澤 インターネット初心者、特に高齢者や不慣れな人は騙されやすい傾向にある。誰に相談し、どこに行けばいいかなど高齢者に届く啓発が必要だ。町民の中から消費者相談サポーターを育成するのも一つの方法ではないか。
町長 秋田県生活センターへ直接相談する人が多く、町の消費者相談窓口へのトラブルや相談などはない。防犯協会や防犯指導員が関係機関と連携し、被害防止に努めている。広報誌やホームページ掲載の充実とともに継続的に広報啓発活動を実施していく。

テレビ回覧板の運用を

畑澤 防災行政無線や防災ラジオに替わる安価な伝達方法を模索してきた。自治体が発信する情報をテレビで簡単に確認できるサービスを活用し、避難を誘導する方法がよいのではと提案する。聞き直して配布も効果的ではないか。
町長 町での災害時情報手段として防災行政無線・エリアメール・登録制メール・ホームページ・SNSなどで情報発信している。他に情報集約配信システム(Lアラート)で災害関連情報を放送局とアプリ事業者など多数のメディアに提供し、迅速かつ効果的な情報伝達に努めている。自宅テレビでNHK放送dボタンで視聴可能である。

一般質問



齋藤 晋

一般質問動画はQRコードから

人口減に合わせた議員定数削減を

齋藤 議員定数も人口減に合わせて削減すべきと思うが、町が考える適正な議員定数は。
町長 議員定数は、議員の任期満了に伴う一般選挙ごとに議会改革特別委員会を設置し協議してきた結果、現在の定数になっていると認識している。参考までに、4千人規模の県内市町村では、井川町11人、小坂町12人で、全国では北海道津別町10人、愛知県設楽町10人である。

議員定数を削減すべき

町長 議会改革特別委員会で協議

齋藤 議員定数も人口減に合わせて削減すべきと思うが、町が考える適正な議員定数は。
町長 議員定数は、議員の任期満了に伴う一般選挙ごとに議会改革特別委員会を設置し協議してきた結果、現在の定数になっていると認識している。参考までに、4千人規模の県内市町村では、井川町11人、小坂町12人で、全国では北海道津別町10人、愛知県設楽町10人である。

年月	議員定数(人)	町の人口(3月末)(人)
S35.3	30	21,840
S43.3	24	19,960
S63.3	22	15,088
H12.3	20	13,015
H20.3	16	11,536
H28.3	14	9,914
R 2.3	14	8,937
R 6.3	14	7,947

議員定数の変遷

高齢者と若者の力を合わせて

齋藤 知識と技術のある高齢者の力を借りて、耕作放棄地や里山に山菜やキノコの栽培を推奨する。若者のアイデアと実行力を借りて産業振興・農林業の振興のために、町主導で実施すべきである。軌道に乗った段階で民間移行すべきと思うが。
町長 耕作放棄地は増加傾向にあり、提案は考え方の一つとして認識している。若者のアイデアと高齢者の技術をマッチングすることで、マーケティングや販路の問題も解決できる可能性があるものと思う。



荒れはてた田畑

生活朝市+観光朝市にすべき

齋藤 農林業の振興と朝市振興のためにも、生活朝市だけではなく観光朝市を加味して考えるべきである。山菜・キノコを町の特産物とし、通年販売できるようにすべき。
町長 山菜・キノコの時期には、多くの来場者があることから、山菜やキノコが通年販売できれば、出店者が減少傾向にある朝市の振興にも資すると考えられる。



なつかしい昔の朝市

- その他に
- 地域別推計人口の生産年齢人口推計をどう思うか
 - 生産年齢減少打開策は
 - 高齢者の生きがいを感じられる町に
 - 衰退する農林業の打開策は
 - 町の移住促進策は
 - 空き家対策のリノベーション補助金は
 - 人口増のため、移住促進対策の差別化を
- などを質問した。

一般質問

町民に優しく 思いやりのある除雪を

町長 除雪講習会への参加を促す



工藤 政彦

一般質問動画はQRコードから



工藤 町民に満足していただける除雪作業にするため、研修会を実施し、オペレーターの技術の向上を図る必要があると考えるが、どうか。

町長 除雪作業の研修会については、一般社団法人日本建設機械施工協会が開催する講習会の案内チラシを送付し、技術力向上意識が高まるよう働きかけていく。さらに除雪業者の育成は、オペレーターの確保が喫緊の課題であり、契約業者と協力しながら問題解決に尽力したい。

建設業者が除雪作業委託から離脱したと聞くが

町長 平成26年度まで道路除雪業務受託登録していた建設

業者は2社であり、現在は1社のみが登録している。業務から撤退した1社は、本業の公共土木工事が冬期に繁忙となるため、オペレーターの確保が難しいと伺っている。

町では登録の受け付けを随時行っているが、申請者がいない。除雪作業をする業者がいなくなる懸念がある。対策を講じてほしい。

現在の除雪委託料は適切か

工藤 除雪車両の維持管理などに大きな出費が生じている。車両購入費や保険料、リース料の支払い、燃料費の高騰などにより、除雪委託料の見直しが必要な時期ではないか。

町長 除雪委託料の1時間当たりの作業単価については、県の除雪会議により示される単価を参考に、町の作業状況を勘案して算出している。単価は車両費、保険料、人件費、燃料費などの高騰分に対応している。なお、町ではリース車両の登録は受け付けていない。



町民に優しい除雪を心掛けて

町道、県道の道路舗装補修を早急に

工藤 暖冬による町道や県道の舗装の破損が目立つ。道路の破損が原因で交通事故などの発生が懸念され、早期の舗装補修が必要である。

また、以前にも要望している県道4号主要地方道能代五城目線（内川黒土から五城目町区間）の舗装の破損箇所の痛みが更に進み、危険な状態だ。「湯の越温泉」の来訪者も多く、道路走行車両の増数も破損の要因となっている。早急の舗装補修が必要だ。



舗装補修が待たれる県道4号線

町長 町道の小規模な舗装破損箇所については、町が雇用する作業員による簡易舗装で手当てをしているが、大規模破損箇所は業者施工で対応せざるを得ない。冬期における舗装補修は低温時の施工は不向きであることから、気温が安定する3月以降を目安に補修を行っている。

また主要地方道能代五城目線の舗装補修については、何度も県へ要望、依頼をしているが、未だに着工されていないことを踏まえ、ご意見いただいた内容を県へ伝達、要請していく。

一般質問

町の公園整備は

町長 遊具のほとんどが修繕を要する状況



雀館公園を町民の憩いの場にできるか

公園施設周辺の整備を

松浦 地域の子どもや地域外の子どもが、いつでも自由に遊べるような場所は五城目町にはないのか。



松浦 真

一般質問動画はQRコードから



町長 本町には22ヶ所の公園が点在しているが、設置されている遊具のほとんどが修繕を要する状況となっている。利用に危険が伴うことから、使用を控えていただいている状況。こうしたことから公園・遊園地の集約を検討する必要性がある。既存施設の利用形態を再考し、自由に利用できる施設を選定して周辺にある公園整備を行うことで、現状改善を協議していく。

除排雪のやりなおし状況は

松浦 過去3年間のそれぞれの年度において、完成の基準に達しておらず「除雪のやりなおし」を指示した件数は何件か。また、そのやりなおしの率は何%か。

町長 令和2年度における除雪に関する苦情件数202件のうち、やり直しに関わる件数は5件で、2・48%。令和3年度120件に対し7件の5・83%、令和4年度が107件に対して3件で、2・80%。



除雪費用の高騰を食い止められないか

町の公共交通に工夫を

松浦 中高生などで部活動後に保護者が車で迎えに来るケースは、各学年ごとに全体の何%ぐらいか。また、保護者が働いており、車で送迎できない家庭もあると聞く。ピーク時だけでも乗り合いや保護者による白タクなど様々な方法はあると思うが、町の考えは。

町長 教育委員会では、中学校の終了時間に合わせてスクールバスやスクールタクシーを運行しているが、部活動が終了する時間帯は運行し

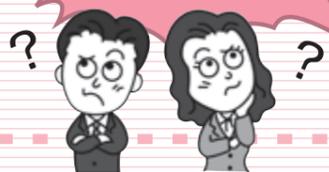
ていない。部活動終了後、夏季は約2割、冬季は約8割の生徒が保護者の車で送迎で帰宅している。中学生の部活動終了後の帰宅には、一部地域を除き、町で運行する乗り合いタクシーを無料で利用できる。ただし、運行時間に制限があるので、部活動の指導者と帰宅時間について相談してほしい。高校生についてはマイタウンバスの利用をすすめる。

また、保護者などが主体となり、助け合いで送迎などをすることは、道路運送法の許可や登録を必要としない輸送となる。燃料代の範囲での送迎となるが、ボランティア団体のつく場合は、まちづくり課に相談いただきたい。



様々な公共交通の確保を

あれ



なんと変わったべが!

シリーズ ついせき 121

令和5年3月定例会一般質問より

あなたにかわって
聞きました

一般質問

令和5年度出生数14人 どうする

町長 保育料の完全無償化を実施する



椎名 志保

一般質問動画はQRコードから



椎名 令和4年度の出生数は17人、5年度は14人である。この現状を町はどうとらえているか。
昨年、一昨年と2度にわたる大災害で町の財政状況はひっ迫しており、益々自由度の高い独自政策を打ち出せなくなっている。今こそ企業版ふるさと納税で財源の確保に取り組みべきではないか。



企業版ふるさと納税を大いに活用すべき

北海道東川町など、企業版ふるさと納税を活用した思いきった子育て支援策で、人口が増加傾向にある事例を参考にすべきだ。

町長 令和6年度より所得制限を設けず、保育料を完全無償化する。企業版ふるさと納税は昨年6月に導入する協議をしていたが、7月の大雨災害で中断している。独自施策の財源確保に有効であり、制度の導入を進めていく。

雇用創出の可能性に努力を

椎名 東成瀬村が第三セクター方式で地域発のITベンチャー企業「東成瀬テックソリューションズ」を設立し、若い世代の移住・定住を実現している。地域おこし協力隊の制度を大いに活用したものだ。旧宮脇書店店舗などを活用した企業誘致など、東成瀬村の事例と併せ、可能性はないか。

町長 企業誘致や雇用創出については、地域活性化支援センターの活用や各種支援制度の整備により進めている。東成瀬村の取り組みも参考に、今後も取り組んでいく。

ベッドタウンとしてのまちづくりを

椎名 徹底したベッドタウン化を目指したまちづくりを提言していた。湯上市には幾つもの企業が誘致されており通勤圏内だ。若い世代の移住・定住策である住まいの手立てとして、空き家の活用はもろろん空き地のマッチングも有効ではないか。



増える空き地のマッチングを

町長 ベッドタウンとしての具体的な取り組みは考えていないが、総合発展計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略で人口減少対策に努めている。

椎名 五城目に住むと土地がもらえる、保育料が0歳児か

ら無償、無返還の奨学金制度があるなど、町に住むとよいことをどんどん増やし、住みたいと思える町にすべきだ。

災害から7ヶ月、寄り添った対応を

椎名 業者に発注するまでもない災害後の水路の詰まりなどを青空号で細やかに俊敏に解決し、住民の不安を取り除くことはできないか。

町長 青空号の作業員数が3名であり、直営作業は限界だ。今年度末には2名退職することから募集を行っている。町建設業協会などと協定締結も考えている。

椎名 被災地域で、それまで保たれていた高齢者同士の見守り合いや日常の行き来に変化が見られる。新たな地域コミュニティの確認が必要ではないか。

町長 町内会や民生委員、福祉員や集落支援員、コミュニティナーズなど支え手と連携した仕組み作りを準備している。また「災害時個別避難計画」を策定することから「共創」の地域づくりを目指していく。

問

朝市の出店者を増やすため、町民が共同で利用できる農産物加工所を作るべきと考えるが、今後の対策は。

1年前の答弁 漬物の加工販売に取り組む場合には、「事業所改修事業」を推奨の上、施設の整備を支援する事で、出店者の減少を抑止するとともに、朝市の振興を図る。

現在 朝市の山菜やきのこの時期には、多くの来場者があり、通年で販売できれば出店者が減少傾向にある朝市の振興になると考える。現段階では、山菜、きのこの採取者や販売者などから、大規模な加工施設建設の要望はない。本年度も食品加工施設の整備のため、「事業所改修事業」の活用を推奨する。

問

県道4号主要地方道能代五城目線は、走行車両が増え、舗装の破損箇所が増え、危険。早急な舗装整備を。

1年前の答弁 秋田地域振興局管内で舗装補修の必要な箇所が多いため、優先順位を立てて、補修作業を実施すること。優先順位が上がるよう継続して県へ要望する。

現在 秋田地域振興局建設部が管理する総管理延長は594,304mと大規模であると共に舗装補修箇所も膨大な状況となっており、主要な幹線、交通量の多い路線を優先し補修を行っている。

なお、大規模な補修が実施できない路線や破損箇所は応急的な補修を実施していく。町では今後も町内の県管理路線の舗装補修について粘り強く要望活動を継続していく。

問

若い世帯の定住策として空き地バンクの開設を。空き家の解体費補助を増額し、登録者へは減税するなど、制度設計に取り組みないか。

1年前の答弁 令和4年度、空き地に関する問い合わせは15件。引き続き相談対応を行っていくが、個人資産の利活用支援となると積極的にを行うことは難しい。

現在 令和5年度において、空き地に関する問い合わせ相談は6件で、空き地を必要とする問い合わせはなかったが、あれば空き地を紹介する。なお、令和5年4月からスタートした町空き家解体撤去費補助金は18件の補助金申請があり、危険空き家の発生抑制に一定の効果があった。

問

公立中学校の休日の部活動「地域移行」については、学校や移転先に加え、保護者や行政など関係者の連携で丁寧に進める必要がある。

1年前の答弁 南秋町村教育長連絡協議会で、部活動の在り方の検討を重ねている。令和5年度は3町1村で土日指導を外部指導員に任せる。今後、学校・保護者・地域と協議を継続し、当分の間、競技経験や指導資格を持つ地域の指導者の協力を得て地域移行を目指す。

現在 昨年9月、学校・保護者・各部の指導者を対象に地域移行の説明会を開催した。部員の休日の学校外活動における保険加入への補助、教育委員会が指導者へ委嘱状を交付するなど、休日の部活動地域移行に取り組んだ。令和6年度は、指導者への謝礼と保険加入への補助を行う。引き続き、近隣町村の動向を注視する。

(小玉 正範)



議会を傍聴しました

あなたの推し議員は？



藤井 瑞穂さん
(野田)

五城目町民となり数十年。友達が作るアクセサリーを朝市プラスで出店するようになり、お客様との会話が楽しく気分転換できる朝市は、大切な居場所となりました。町に対する意識も変化し、そんな時に議会傍聴のお誘いを受けました。知らないことだらけの傍聴に今までは興味を持ってませんでした。

一緒になら行ってみようかなと思いました。

勝手に敷居が高そうと思っていた傍聴。内容は当たり前ですが五城目町のこと。私たちが生活していることじゃないですか！「議会だより」を読んだことはありましたが、傍聴の方が断然、臨場感がありました。自分が一票を投じた議員がどんな質問をして、町はどんな回答をするのか、傍聴して自分の目で見て聞いてみませんか？これから推しの議員は、どんな質問をしていくのか楽しみです。



(佐沢由佳子)

がんばってます

改革と進化で新たな五高へ



五城目高校
生徒会長

中村 □□さん

4月8日に令和6年度の入学式が行われました。今年度は新たに23名の新入生を迎え、全校生徒87名となりました。4月是对面式や部活動紹介、馬場目川クリンアップ、生徒総会など様々な行事が行われ、緊張していた新入生も少しずつ高校生活に慣れてきています。

運動部は全県総体に向けて毎日練習に励んでいます。野球部は昨年の甲子園予選で6年ぶりに勝利を収め、今年も活躍が期待されます。私たちの活躍には町の皆さんの応援が必要です。是非応援をよろしくお願いします。

6月22日には、五高祭が行われます。皆さんに楽しんで頂けるようにステージ

発表や、様々な企画を用意していますので、是非遊びにいらしてください。年々生徒数が減少してきている五城目高校ですが、生徒会ではこれまでの伝統ある行事を守りつつ、少人数であることを逆手に取り、自分たちができること、自分たちにしかできないことに目を向けて五城目高校を改革していきたいと思えます。生徒会長としての任期はたった一年間という限られた時間ですが、失敗を恐れずに、何事にもチャレンジし、伝統を守りつつ私たちの新しい五城目高校を創り上げていけるよう何事にも全力で取り組みたいと思います。

これからも五城目高校をよろしく願います。

(伊藤 信子)

編集

後記

例えば五城目町PTA連合会として、学校給食への地場産食材活用の陳情活動を行ったことが、私の政治参画の第一歩だったように思う。基幹産業が農業であるはずの町の学校給食に、五城目産米すら納入されていない実情であった。

地産地消に思いのある栄養士の赴任、タッグを組んだ町職員、保護者である我々PTAもその姿勢を示さなければならぬと感じた。陳情は一度は継続審査となり、二度目の審議でようやく採択された。二度とも傍聴席で、その様子を見守り、生産者団体と協定を結ぶ場面に立ち会った際は、涙が出るほどうれしかった。私のささやかな議会体験談である。

新人5名を含む8名の新たな体制で船出した議会広報編集委員会。

一人でも多くの方に町政に関心を持っていただけるよう「みんなの町議会」もその一翼を担いたい。

議会広報編集委員会

委員長 椎名 志保 記

